

郷土芸能の指導が実を結ぶ

4月19日（火）、長年にわたり「西中野組獅子舞」の伝統を守り、現在も富士見小学校児童や獅子舞応援隊の指導をしている長内英五郎さん（前中野）が、このたび公益財団法人伝統文化活性化国民協会表彰を受賞され、中野町長から伝達されました。

400年前から伝承される「津軽の獅子舞」は、昭和50年ころには町に9組あった獅子舞保存会すべてが姿を消してしまいました。そこで、昭和52年の保存会のひとりだった長内さんが、西中野組獅子舞の地元である旧木筒小学校にお願いをして子どもたちへの指導が始まり、現在の富士見小獅子舞（西中野獅子舞）へとなくなりました。

今回の受賞は、郷土芸能の復活から現在に至るまでの功績が認められた非常に価値ある表彰となりました。



4/25 中学生大使が総会でフツドゥバー市親善訪問を報告

5/6 ロータークラブの皆さんが富士見湖パークを清掃

5/6 小野 武司さん（寺町）に厚生労働大臣表彰が伝達される



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。（☎22-2111 内線263）

野鳥の森に巣箱掛け

5月9日（月）、水元中央小学校4年生11人が、緑の少年団活動の一環として、津軽富士見湖畔にある「野鳥の森」に巣箱掛けをしました。

巣箱掛けでは、笹森松三さん（津軽富士見湖の自然と野鳥を守る会会長）から、鳥が風邪を引かないように巣箱の入り口を風が入る北向きや西向きにしないことや巣箱を掛けたあとは自分たちで見に来たり、触ったりしないことなどの指導を受けた後、自分たちが作った巣箱をはしごに上がりながら上手に木々に掛けて回りました。



△笹森さんの話を熱心に聞く児童



△お母さんと一緒に巣箱掛けを行いました



△みんなの巣箱に今年も野鳥が入りますように！

交通事故から子どもたちを守ろう！

5月11日（水）～17日（火）までの1週間、鶴田駐在所、鶴田町交通安全協議会、交通安全母の会、各地区の団体により春の交通安全運動が展開され、児童の通学や下校による交通事故の防止や夕暮れの早めのライト点灯などを町民の方々に呼び掛けました。

10日（火）の早朝には、各交差点で街頭啓発活動が行われ、通学する児童たちへの交通安全指導が行われました。

この時期の新入児童は、大人たちが見守ってあげないと、急な飛び出しやふざけて車道に出てしまうなど危険がいっぱいです。わたしたち大人が子どもに注意して、まちの宝である子どもたちを交通事故から守ましょう。



①街頭啓発に集まった団体の皆さん ②元気な声であいさつをする児童
③信号箇所では指導する方々 ④児童へに声掛けしながらの安全指導



△間山の桜並木。今年もすばらしい桜を咲かせました



△平成9年に樹植した桜。幹の高さも5歳ほどになりました。



△5/4 パーク内の桜は超満開に

桜・さくら・sakura

今年の町の桜は、早いところで4月19日（昨年も同日）から開花が始まり、5月3日から6日にかけて満開見ごろになりました。

今年は大震災の影響で、「津軽富士見湖桜まつり」のイベントが中止になりましたが、富士見湖周辺に植えられた2000本の桜たちは期待を裏切ることなく見事に花を咲かせ、訪れる観光客の目を楽しませていました。

公園を花でいっぱい・花の植栽

5月11日（水）、管内の保育園など園児113人とボランティア86人の皆さんによって、たくさんの花が富士見湖パークの花だんに植えられました。

はじめのセレモニーで、はやせ保育園の園児の皆さんが「花と緑いっぱいの鶴田町にしましょう。」と元気いっぱいに誓いのことばを述べ植栽が始まりました。

広さ700平方メートルにわたる円形の花だんには、管内の園児、廻堰万年青会、木筒ひまわり会、五所川原農林高等学校の生徒の皆さんでベコニア1万本が一斉に植えられていき、赤やピンク、白といった鮮やかな色彩に彩られていきました。

この花だんは、秋までここを訪れる方々の目を楽しませてくれます。



①中野町長と五所川原農林高校の生徒から植え方を教わりました
②③大人をまねて丁寧に植える園児 ④手が泥んこになっても喜ぶ園児